

## 調査報告書

## 東海市 「いきいき元気事業」

人口 114.827 人、一般会計平成 31 年度予算 431 億 9.000 万円、財政力指数 1.25 全国都市 9 位、以上から見てもわが市の比ではない。また、名古屋南部臨海工業地帯の一角にあり、産業上の拠点都市としての役割を果たしている。

健康増進計画の「いきいき元気推進事業」の取り組みは、糖尿病対策に併せて市民の健康状態が悪く、平均寿命の順位が県内 7 8 市町村中で低かった。平成 17 年度で男性 68 位、女性 43 位の現実を現職首長が、3 期目の公約として「健康づくり」取り組んだとの事であった。指摘・指導者は国家公務員で医師との事であったが、出向を依頼された方か、財政力があり、首長の柔軟さも伺える。来年度からは高校生、大学生までの医療費無料化を所得制限なしで実施する予定との事である。

## 焼津市 「下水道事業について」

汚水処理量平成 30 年度 11.008 m<sup>3</sup>/日平均 (12.872 m<sup>3</sup>/日最大、晴天時)

汚泥処理量平成 30 年度 2.627 t/年 脱水設備更新で平成 27 年度より 2 割減

脱臭設備 活性炭吸着塔 3 台

下水道区域は住宅が多く家庭排水がほとんどで、水産加工場は 2 工場と他 1 施設の排水であるとの事。他の工場は、それぞれの処理施設を持ち郊外に立地している。

本市との相違は、汚泥量は半分である。水産加工場も少ないが、それぞれの事業所は油分を処理して排水することで流下防止も取り組む。下水処理場の施設は、全被覆施設であり、汚泥排水は遠心脱水機で対応している。本市の脱水は、スクリー脱水機、加圧脱水機で対応。どちらが効果的か。平成 28 年脱水機 2 台を 7 億 4.200 万円で更新し、含水率 81%から 76.8%になっているとの事です。本市は 78.6%、燃焼処分するには 75%が必要。施設の被覆と脱水機の見直しが必要であろう。

## 沼津市 「みなとオアシス沼津」に関する施策について

特定地域振興重要港湾として平成 12 年 5 月に選定された。沼津港は観光振興を主要とする港とされたが、観光の他、防災拠点、産業振興、環境についてだが、「沼津港振興会」は沼津港の整備、発展及び利用促進を図り、「みなとオアシス沼津」の運営母体と位置づけられ、港湾事業の整備計画や賑わい創出事業の内容について意見を諮っているとの事です。

事業は国・県の事業として行われており、来客増で駐車場整、降車場の設定が課題になっているとのことである。店舗等の増と集客法は一考させられる。